

# わがまちの「ちよつといい話」

NO. 3

「道徳のまち笠松」推進会議  
(笠松町教育文化課)

## ○ 投げ捨てごみ

名岐バイパス新木曾川橋と県道の交差点付近の道路わきでは、ペットボトル、ビン、雑誌類、菓子や食べ物の空き箱、タバコの吸殻などのごみが目につきます。円城

寺地域の皆さんも気にされている。町内会でも一斉清掃の折に片付けられる。しかし、しばらくすると、またごみが散乱し、同じ光景が繰り返される。このごみは、通行人や通行する車からポイ捨てされるもの。中には、袋包みごと投げ捨てられたものも。道徳のまち笠松推進会議では、これを片付け、きれいにしようと計画したのです。

## ○ まずは、きれいな道路で！

三連休の真ん中、十一月二日の早朝。集まったのは、地元の町内会長さんは

じめ、町内会有志のみなさんと道徳のまち笠松推進会議の十一人。きれいなまちにしたい。そのためには、誰が捨てたごみかわからないが、誰かが片付けなくてはならない。そんな考えで黙々とごみを拾います。一時間で二十七袋のごみを集めました。道路わきだけでなく、付近の草むら、溝にもごみは散乱

「きれいなまちづくり」を背にしよう

しています。衣服には、ヌスビトハギの種子がしっかりまとわりつく。しかし、ごみ拾いは続けられました。

## ○ 中位のきれいさ 大きな満足感

予定時間で、目につく大きなごみだけは、何とか片付けました。しかし、タバコの吸殻など細かいごみまでは、とても手が回りませんでした。中位のきれいさというところか。しかし、自

分たちの手で、まずはここまで、きれいにできたという満足感をみんなが共有しました。まちをきれいにしたいという心、「ごみを捨てない心を自ら育む時間」でもありました。今回は、背中に「きれいなまち」と書いた白い布のついた赤いTシャツを着ての取り組みでした。ごみを片付ける姿は車で通行する人々にどのように写ったでしょう。ごみを捨てないでと背中では訴えている。



“きれいなまちづくり”のTシャツ姿で